

# 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 18-001

研究課題名	肝性脳症に対するシャント塞栓術が肝予備能や予後に与える影響
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	内科的治療抵抗性の肝性脳症に対するシャント塞栓術の効果と、長期的肝予備能改善効果、予後に与える影響を調査します。データは個人が特定されないように匿名化を行って解析します。他の医療機関に個人情報を提供することはありません。研究成果は、学会や専門誌などに発表される場合がありますが、個人が特定されるような情報が公表されることはありません。
利用または提供する情報の項目	診療記録、血液検査結果、CT や血管造影・内視鏡画像など
対象者及び対象期間	2006年～2017年に当科で門脈大循環シャント塞栓術(B-RTOあるいはPTO)を受けた肝性脳症の患者さん
利用の範囲	新潟市民病院 消化器内科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器内科 和栗 暢生
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器内科 和栗 暢生 TEL 025-281-5151 (代表)
備考	